

みんなでみつけよう！



見つけたらチェックしてね♪

こまついきものずかん



たきが はらまち らくえん 滝ヶ原町トンボの楽園

地元住民が山間部の開発により生息数を減らした多くの生き物を保護するため、休耕田となっていた土地をピオープとして再生させ、「滝ヶ原町トンボの楽園」と名づけました。現在、トンボの楽園には「ハッチョウトンボ」をはじめとする48種以上のトンボや絶滅危惧種の「ホトケドジョウ」などが生息しています。



ハッチョウトンボ

たいちょう 17mm～21mm

あえるじき 夏 めずらしさ ★★

一円玉くらいしかない日本で一番小さなトンボ。雑物に止まっていることが多い。メスは体が黄色で黒色のまだら模様である。見つけても見るだけにしよう。



アキアカネ

たいちょう 32mm～46mm

あえるじき 秋 めずらしさ ★

オスは茶色のむねだが、メスはむねが黄色になる。赤とんぼとして親しまれている。10月の始めにはたくさん見られ、まさかトンボの楽園だ。

オニヤンマ

たいちょう 82mm～114mm

あえるじき 夏 めずらしさ ★★

黄色と黒色のしま模様をもつ、日本最大のトンボ。とてもすばやく飛ぶため、つかまえるのはむずかしい。つかまえることができれば、一人前のトンボハンター！



シオカラトンボ

たいちょう 47mm～61mm

あえるじき 夏 めずらしさ ★

こい水色の目や白っぽい体美しい。メスは体が黄色で、目が緑色に近い。よく見かけるため、こうびやなわばり争いもかんたんに観察することができる。



キイトンボ

たいちょう 31mm～48mm

あえるじき 夏 めずらしさ ★

オスは緑色のむねと黄色のおながきれいな体。メスはおなかも緑色。ピオープの周りには雑物に止まることが多い。上下にゆれながら飛ぶすがたはかわいい。





モンキアゲハ

たいちょう 90mm～110mm

あえるじき 夏 めずらしき ★★

黒色のはねに白色と赤色のもようを持つ。大きいため見つけるのはかんたん。飛ぶのが速いので追いかけてつかまえるのは大変。花に止まるときがチャンス。



キタキチョウ

たいちょう 34mm～45mm

あえるじき 春・夏・秋

めずらしき ★

黄色いはねでピオトブの周りを飛んでいるため、よく目立つ。他のチョウよりも見られる時間が長い。花に止まっていたらみつをすう様子を観察してみよう。



キアゲハ

たいちょう 70mm～90mm

あえるじき 夏 めずらしき ★★

黄色と黒色のはねに赤色と青色のもようがある。つかまえたときには、はねの付け根を持つようにしてあげよう。他の大きなチョウよりつかまえやすい。



トノサマガエル

たいちょう 38mm～94mm

あえるじき 春・夏 めずらしき ★

メスとオスで体の色がちがう。メスは茶色っぽく、オスはより緑色っぽいものが多い。たぐさいるため、さがすのはかんたん。すばやくキャッチしよう。



モリアオガエル

たいちょう 42mm～82mm

あえるじき 夏 めずらしき ★★

さんらんをする5月半ばが、さがしやすい。水辺の植物にあわを作り、たまごを産む。「カラララ」と鳴き、大合唱している様子は、夏が来たよと言っているようだ。

ねん くみ なまえ

制作：小松市農林水産課 協力：石川県立大学ピオトブ研究会